


中1	単元名	<b>SDGs ゴールを身近な暮らしから見つけよう！ 流氷と私たちの暮らし</b>	4 時間
単元の目標	○図表資料や情報と文章を関連づけながら、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確に表現する。		
日本語の目標	① 目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすることができる。（読むこと） ② 指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意することができる。（読むこと） ③ 身近な自然について、具体例を示して説得力のある文章を書くことができる。（書くこと） ④ 文章や友達の意見から新しく得た情報をもとに、自分の考えを広げようとしている。（関心・意欲態度）		
学習課題	SDGsについて学んだことを、具体的な事例やデータをもとに効果的に伝えよう		
主な学習活動	1. SDGs について学んだことや、感想等を、他州の補習校の生徒と意見交換し交流する。 2. 説明文三部構成（序論・本論・結論）や本論の三つのまとまりについて構成を把握し、文章の中心となる部分を捉えて筆者の主張を要約する。 3. SDGs の観点から身近な自然の変化に着目し、「具体例を示して伝える」ためにテーマを決め材料を集め文章構成を考える。 4. 集めた材料を比較したり分類したりして伝えたいことを明確にする。 5. パワーポイントで、写真や表、図など資料と報告文を関連づけてスライドを作る。 6. 効果的な伝え方を工夫し、コンピューター共有画面（シェアスクリーン）を用いて発表する。		

学習活動計画			
時限	内容	活動	ポイント
1	導入 学習課題をつかむ  他州補習校との 交流活動	めあて <b>SDGs について学んだことを共有し、課題を確かめよう</b>  ● SDGs の活動や、目標について、日本の専門講師の説明を聞く。 ● 自分の意見や感想、疑問に思ったことや質問をまとめ、相手にわかりやすく伝える工夫をする。 ● 資料や情報から得た知識を整理し、伝えたいことを明確にする。   SDGs の観点から、教材文「流氷と私たちの暮らし」を考えることを目標に学習課題をつかむ。	SDGs の目標や活動など新しく得た知識や情報などをメモにとり、各自の感想や意見をノートに整理させる。  ブレイクアウトルームで他州の補習校生徒達と意見交流。また疑問や質問をして理解を深めさせる。

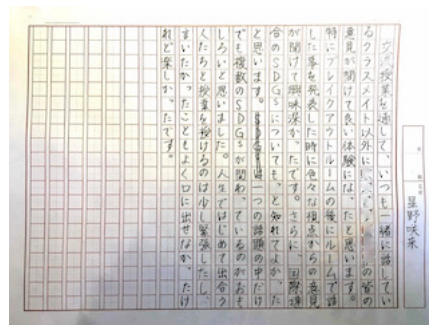
	学習計画を立てる	形式段落の要点を捉え、説明文の構成を考える。 「流氷と私たちの暮らし」の読解観点を提示。 ◇ 事実と筆者の意見を読み分けて内容を捉える。 ◇ 説明的な文章を要約し要旨をつかむ。 ● ◇ 文章の構成や表現の特徴を捉えその工夫や効果を考える。	序論・本論・結論の確認 ・学習計画のワークシートに、項目別に記入できるように準備。
	家庭学習	「流氷と私たちの暮らし」の音読	
2	学習課題をつかむ	めあて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">流氷の役割について知ろう</span>  序論（第1～4段落）要点と役割をまとめる 本論（第5～16段落）要点をまとめ、三つの部分に分ける。 結論（17～18段落）を段落ごとの要点と要旨をまとめる。 * 「太陽光の反射板」「海のふた」「地球のエアコン」など、流氷の働きについて比喻表現を用いてわかりやすく説明している。	・論の構成の仕方 ・事実と意見の関係 ・図表グラフ等の使い方 ・文末表現の言葉 ・比喻表現の効果など 着目させて筆者の工夫や意図に気づかせる。
3	家庭学習課題	● 家庭学習課題の内容を確認 SDGsの17のゴールの中から興味を持った内容について、教材文を参考に、構成や文章の工夫を考える	SDGs資料として、講師の斉藤さんの動画を提示
4		めあて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">SDGsと身近な自然や生活を結びつけながら伝えよう</span>  ● 仕上げた報告文PPTを発表し合う。 ● 友達の報告文の良いところを話し合う。 ● 説明のしかたの工夫や分かりやすく伝えるためのプレゼンテーションについて話し合う。   <p>The composite image includes: 1. A video thumbnail titled '3分でわかるSDGs' (3 minutes to understand SDGs) with a subtitle 'ゴミ、排水が原因で海を汚染してしまっている' (The sea is being polluted because of trash and wastewater). 2. A text box titled '今回のテーマ「流氷と私たちの暮らし」' (This time's theme: 'Icebergs and our lives'). It lists two roles of meltwater: '● 気温、海温を下げる役割 →地球のエアコン' (Role of lowering temperature and sea temperature → Earth's air conditioner) and '● 栄養を供給する役割 →水産資源や生態系を守る' (Role of supplying nutrients → Protecting aquatic resources and ecosystems). 3. A map titled '■ 流氷の動き' (Movement of icebergs) showing the Sea of Okhotsk, Amur River, and the Japanese archipelago. It indicates that meltwater from the Amur River flows into the Sea of Okhotsk, where it freezes into icebergs that drift south towards Japan. Labels include 'オホーツク海' (Sea of Okhotsk), 'アムール川' (Amur River), '日本列島' (Japanese archipelago), '太平洋' (Pacific Ocean), '凍らない' (Doesn't freeze), and '凍る' (Freezes). Source: 図解 長尾美和.</p>	図表資料や情報と文章を関連づけ工夫させる。 ・評価観点カード用意。 ・日本や他国の補習授業校の友達へ発信。  振り返りの観点 声の大きさや速さ、言葉の抑揚や強弱、間の取り方、相手を見る視線、資料の活用、伝えたい内容が相手に伝わるよう表現を工夫しているか。

#### 本単元の意図

授業での学びとSDGs活動など、社会や世界の状況を結びつけることで、自分の人生と社会や世界とのつながりを実感できれば、学習目的も明確になり、学習にも意欲的に取り組むことができる。

世界中の補習校がオンライン授業を進める中、日本や他国他州の補習授業校との交流授業も実現が可能になったため、地域や国を超えた生徒間の探求的学びをさらに広げていきたいと考えた。

## 交流授業（1 時限：導入活動）を終えて 生徒の感想



交流授業を通して、いつも一緒に話しているクラスメイト以外に、他州の中学生の意見を聞いて良い体験になったと思います。特に、ブレイクアウトルームの後に話し合ったことを発表したときに、色々な観点からの意見が聞いて興味深かったです。更に、国際連合のSDGsについても知れて良かったと思います。一つの議題の中でも複数のSDGsが関わってくるのが面白いと思いました。人生で初めて出会う人たちと授業を受けるのも少し緊張したし、言いたかったこともよく口に出せなかったけれども楽しかったです。

三月六日の国語の授業は、「流水と私たちの暮らし」の単元を、他州の補習校と一緒に学習しました。この授業には、ユウチューバーの斉藤さんがSDGs講師として特別に参加してくださいました。

まず、最初は、斉藤さんが、SDGsについて詳しく説明しました。SDGsとは、持続可能な開発目標ということで国連が定めている国際目標です。例えば、世界中のあらゆる形の貧困を終わらせるなどの達成目標があります。その目標の中で、この単元に深く関係しているものは、気候変動及びその影響を軽減するなどがあります。斉藤さんのSDGsについての説明がよくわかりました。

授業では、他州の補習校と斉藤さんと小さなグループでディスカッションすることができました。そこでもっと詳しくSDGsについて話し合いました。

現地校で学習したことや、オンラインで得た情報についてもお互いに出し合いました。斉藤さんは僕の質問にもわかりやすく説明してくださいました。僕は、この授業で、流水を守る大切さやSDGsだけでなく、話し合うことや、その題材について詳しい知識のある人から話を聞くことでより深く勉強できることを学びました。またこういう機会があると良いなと思いました。

土曜日のシアトル四つ葉学院との交流授業で私はとても楽しい時間を過ごすことができました。シアトルの生徒達と意見交換をできたことでとても勉強になりました。交流授業で色々地球温暖化防止や地球の環境の守り方のことを学べました。またいつか交流授業をやりたいと思います。

他州の中学生と話すことができ、とても楽しかったです！最初は緊張していましたが、シアトルの中学生は、ノリが良くてすぐに打ち解けて一緒に笑っていました。SDGsの具体的な対策としては、プラスチックの袋が有料になっている所や、鉄のストローでプラスチックストローを使うことを防ぐ取り組みについて実際に見たことがあります。

今地球でどんな事が起きているのか、私達人間の行動が、どう地球に影響を与えているのか、そして地球の変化によって、どう私達に影響をもたらすのか、普段考えない事を学ぶことができ、すごく良い経験になりました。

私には地球に大きな変化を与えることはできませんが、日常生活でゴミを拾ったり、リサイクルしたり、木を植えたりなど小さな事でも地球の助けになればいいなと改めて思いました。

僕は、シアトル四つ葉学院との交流授業で斉藤陸さんに話を聞き、流水は、SDGsの中でも、もっとも大事で壮大な「自然のドラマ」なのだと思いました。初めは、普通の国語の授業で、教科書の内容を学習するのかと思っていましたが、SDGs専門のyoutuberが、日本からゲスト講師で授業に入るとは少しも思っていませんでした。

17個のSDGsが、更に168個に分蹴られることも知って驚きました。

ブレイクアウトルームでは、シアトル四つ葉学院の生徒とも話し合うことができ良かったです。

SDGsは大変興味深い内容で、これからもっと学ぶ機会が多くなると思いました。